

事務事業評価シート(総括表)

事務事業	75	交通結節点の整備推進(中井駅周辺)					
章	3	安全で快適な、みどりのあるまち					
大項目	01	計画的なまちづくりの展開					
施策	01	適切な都市構造の実現					
事業内容							
目的	環状六号線拡幅工事により生ずる高架下の空間を活用し、西武線中井駅周辺の交通の利便性向上を図ります。						
対象・手段	対象：東京都、首都高速道路、西武鉄道、中井駅利用客及び落合・中井地区住民 手段：高架下空間を利用した中井駅周辺の整備を行います。						
成果(事業が意図する成果)							
<p>駅北口を整備することにより、踏み切りを横断することなく駅利用が可能となります。 駅前広場を整備し、自転車駐車を設置することにより、放置自転車の解消が図られます。</p>							
事業成果指標							
指標名		定義			目標水準		
中井駅周辺の整備		整備計画を策定して20%、設計を行って50%、整備工事が完了して100%とします。			() 年度に (100%) の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
					() 年度に () の水準達成		
成果の達成状況							
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考
事業 成果 指標	目標値 1	%	100.00	100.00	100.00	100.00	都道環状六号線の工事に起因する計画のため、目標年次の設定はできません。
	実績 1	%	20.00	20.00	20.00	20.00	
	= /	%	20.00	20.00	20.00	20.00	
	目標値 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 2		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
	目標値 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	実績 3		0.00	0.00	0.00	0.00	
	= /	%	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業の実施内容							
平成17年度	調整協議(都、首都高速道路(株)、西武鉄道) 住民対応(環状六号線、中井駅周辺の工事進捗及び事業内容についての説明)						
平成18年度	調整協議(都、首都高速道路(株)、西武鉄道) 住民対応(環状六号線、中井駅周辺の工事進捗及び事業内容についての説明)						

部名称		都市計画部			課名称		都市計画課	
		単 位	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	備 考	
トータルコスト	事業費	千円	0	0	0	0		
	人件費	千円	6,670	6,670	6,670	6,624		
	事務費	千円	74	58	60	59		
	減価償却費等	千円	0	0	0	0		
	総計 = + + +	千円	6,744	6,728	6,730	6,683		
	受益者負担	千円	0	0	0	0		
	純計 = -	千円	6,744	6,728	6,730	6,683		
	受益者負担率 /	%	0.00	0.00	0.00	0.00		
財源内訳	一般財源 = -	千円	6,744	6,728	6,730	6,683		
	特定財源		0	0	0	0		
	一般財源投入率 /	%	100.00	100.00	100.00	100.00		
職員	常勤職員	人	0.80	0.80	0.80	0.80		
	非常勤職員		0.00	0.00	0.00	0.00		
事業に関する検討課題								
<p>環状六号線工事の進捗を見守り、西武鉄道及び道路事業者との調整を図る必要があります。幹線道路から北口の整備予定地への経路の設定等が今後の課題です。</p>								
評価基準に基づく評価と理由	達成度	2	18年度は道路事業の進捗状況を踏まえて、鉄道事業者や道路事業者との情報交換を行っておりほぼ計画どおり進んでいます。					
	効率性	2	中井駅利用者の利便性向上のため、道路事業にあわせて高架下空間を活用し、駅周辺の整備を行う事業であり効率的です。					
	実施の成果	2	道路事業の進捗状況を踏まえ、鉄道事業者や道路事業者との情報交換や調整を行なうことにより、駅周辺の利便性の向上が図られるため成果はあります。					
	行政の関与	3	区が鉄道事業者や道路事業者との調整を行うことにより、地元の利益向上に繋がり、まちの賑わいを生み出します。そのため、区の関与が必要であり妥当であります。					
	妥当性	3	中井駅北口を整備するためには、高架下空間を利用することが、もっとも妥当であると考えられます。					
	施策寄与度	3	環状六号線拡幅工事により生ずる高架下の空間を利用し、中井駅周辺の交通の利便性向上を図ることにより、適切な都市構造の実現が期待できます。そのため、目的達成に大いに寄与しております。					
総合評価	18年度は、都市計画道路環状六号線工事の進捗を見守りながら、駅施設の改善に向け、調整を行いました。						B	
							過年度評価 17年度 B 16年度 B 15年度 14年度	
改革方針	住民との協議 整備に当たっての一定の制約条件（都市計画道路環状六号線の整備状況による時間的制約、高架下空間という物理的制約）のもとで、地域住民の意見を施設整備に取り入れつつ、事業を進めていきます。 民間との役割分担 西武鉄道と取り交わした駅北口設置への協力を約束する文書をもとに、その具体化を図っていきます。						方向性 1	
							現状のまま継続	